

普選に直面して 青年諸君に檄す

何れの選挙に於ても吾等のよらなくてはならない、其最も遺憾に感ずるものは、候補で政黨の必要が起つて來る補者の中に青年の少ない事、のた吾等の生活をよりよである、何時の時代に於ても理想の境地に押し上げやうと改造進歩を行ふには何うしてゐる青年が政治に干與してゐる、殊に今日に於ては市町村と云はず府縣と云はず、國と云はず其中心人物となつて活動する人物に青年を求めて止まない、此意味に於て普選の實施せられた第一回に於ては舊勢力を代表する中老の候補者が多數を占めて居ると云ふ事は若き本縣の爲めに悲しむべき現象である。

政治を理解せよ

世の識者と稱せらるる者の中に青年が政治に干與する事は不可である、實業家は政黨の色彩を帯びてはならぬと云ふ様な事を云つて居る、然し乍ら吾等は此所謂智識者なる人の言を肯肯する事が出来ないのである、政治とは何であるか、今頃政治や政黨の講釋でもあるまいが、政治とは即ち生活である政黨とは生活權を主張する政治の團結の力を以てよりよく導かんとする團體である生活權を主張する事が政治である以上青年が政治に干與して不可なりと云ふ理由は何處にも發見する事が出来ないではないか、今日政治をよりよくするには同半を有する團結の力に

生命の躍動して理想と正義とを燃えてゐる、純真のみ没頭する我利我利者たる青年は自ら進んで政治の何等かの意味を以て來る中政黨の中に突入して、沈むべき縣議の立候補となり勝滞した空を清新にしなく利を得べく夢見て、今より注意すべきは政黨と云つて様でもあるから、青年たるも總ての政黨が之なりと云ふもの此際、大に覺醒自重せへない政黨でなくして私利私欲をばならぬ。

私慾を營む用黨もあるのだから此點は充分に考慮しな

共和裁縫女學校

本校は元村長赤坂毅一氏のして更生の氣分に設備が調子女教育の精神より大正十一年に創立されたもので、三年六月十日創立されたもので、須要なる和服、洋服裁縫の地理上の關係頗る交通不手藝を教授し併せて其の便にして農村子女の中等學智識及び品性を養成するの校或は裁縫其他技術學校である、年限は四學年に分通學するに困難であり又一けて各學年を六ヶ月とす、

面經濟上の負擔容易ならざ創立年未だ若きも成績頗るるより學窓に親むの不可能良好にして在學生百三十名なるに先覺して技術教育とに達し地方に貢献する多大の一機關を設けた譯であると共に將來大に期待ある爾來赤坂氏は經營上幾されつゝある、職員は校長多の困難と戦つて來たが、大外多年教職にあつた老練家正十四年に縣の認可を受け古澤豊吉氏と平野陽陽出身の蛭田直重氏の經營に移り同卒業後母校に教鞭を採られ時に同氏が校長となつた次永山カツエ女史と本校卒業である蛭田氏は現在の字業の助手五名で名實共に新町六一番地に校舎を新築し好評を博してゐる。

長途騎乗の計畫全くなり 櫛田彦之進君の壯舉

十月一日青森出發に決定

石城郡入遠野村在郷軍人分備中である。各新聞紙で既に壯舉を賛し同君の前途を祝し其成功を希ふや切なありとて小宅幸三、矢内半藏、永山久助、志賀松吉、日元郡衛に於て區長會議を開き近く評議員會を招集する事に決する。

櫛田彦之進君長途騎乗各方面より非常な熱狂を以て迎はられてゐる。

- 後援會
- 會長 綠川 信人
 - 油座 末吉
 - 小宅幸三之助
 - 折笠竹次郎
 - 瀬谷 健藏
 - 平子清太郎
 - 鈴木 平雄
 - 田子 兵馬
 - 小澤 淺次
 - 高木卯吉郎

社告

これから文藝欄を設けて和歌、俳句、紀行文、隨筆創作等何んでも大々的に歡迎するの事、懸賞俳句は後日發表、選者の氏名も共に。

石城民政黨豫選會と 噂の候補面々

南部は鷺氏か大平か

民政黨石城支部では來る廿二日等である。六日南町民政黨クラブに於候補者としての顔振は野崎、若松美三、鷺清昇の

櫛田彦之進君石城郡産馬著者豪氣勇猛の氏は無知なる者は笑はば笑ひ此の壯舉の目的は天の知る處と冷笑を餘所に行程日數三十日を以て十月一日出發三十日の五百六十五里の長途を突行程五百六十五里乗破せん破征服すると云ふ素晴しいとす一は國軍に資し他は第其熱誠に各方面でも遂に動一區生産馬を撰みたる點にされて後援會を組織して目於て殊に意義ある所以は本

佐藤喜代太
小澤松太郎
齋藤佐久馬
山野 保治
鈴木慶之助
北郷三郎兵衛
上遠野要助
赤坂 毅一
小宅 幸三
鈴木 龜治
蛭田 安平
志賀 松吉
吉田 房吉
折笠 繁信
高木 菊松
樋口幸右衛門
折笠 意登
小吟 善次

良品廉賣に勝る商略なし 磐城セメント株式会社 和洋銅鐵

磐城平町五丁目特約代理店 金物問屋



火釜屋商店 電話九番一三九番 振替貯金口座東京一〇九五六番

祝創刊七週年

炭礦主

川瀨 幸吉

石城郡赤井村

矢野 達

石城郡赤井村

山崎 吉平

石城郡飯野村

磐城炭礦株式會社

礦業所

四倉電氣株式會社

社長 新妻 盛

四倉銀行
專務取締役

戶田 兵藏

苗木、盆栽
皇月、植木 (斯春園)

園主 岡田米太郎

石城郡赤井驛前

苗木、盆栽
諸種植木

岡田 朝治

石城郡赤井驛前

飯野村長

伊藤 淺之助

根本 忠松

石城郡赤井村

筒井 衆次

石城郡赤井村

木村 德三郎

石城郡湯本町

堀部 留造

双葉郡久の濱町

炭礦主

古市 喜三郎

石城郡赤井村

石城銀行組合

磐城銀行 三丁目
磐城越銀行 二丁目
磐城實業銀行 南町
磐東銀行 四丁目
四倉銀行 植田町
第七十七銀行平支店 三丁目
第七十七銀行平支店 三丁目
農工銀行平支店 四丁目
常盤銀行植田出張所 植田町

平藝妓屋組合
玉川 電話一八六番
谷口 電話八番
甲子 電話四番
三好家 電話三五〇番
久本 電話二〇九番
山形家 電話一七二番
橘葉家 電話二六四番
三島家 電話一〇二番
竹の家 電話七三番
吉野家 電話二六〇番
開花亭 電話三五〇番
湖月 電話二四五番
仲清家 電話一五三番
福澤家 電話四三三番
林澤家 電話二一六番
品京 電話三二〇番
米美の家 電話二一九番
富美の家 電話一五三番
野口 電話三五四番
榮家 電話二〇四番